



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 ホクト株式会社 上場取引所 東
コード番号 1379 URL https://www.hokto-kinoko.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 雅義
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務本部長 (氏名) 中田 康平 TEL 026-259-5955
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	18,524	3.9	176	—	147	△84.0	1,358	125.4
2025年3月期第1四半期	17,825	5.8	3	—	923	—	602	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,108百万円 (423.9%) 2025年3月期第1四半期 402百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	43.43	37.21
2025年3月期第1四半期	19.00	16.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	109,491	57,689	52.7
2025年3月期	107,620	56,808	52.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 57,689百万円 2025年3月期 56,808百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	10.00	—	40.00	50.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	10.00	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 2026年3月期の期末配当予想については、現時点では未定です。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	38,100	5.8	△1,330	—	△1,160	—	280	—	8.95
通期	83,600	0.6	4,280	△35.4	4,650	△33.1	4,340	△2.3	138.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期1 Q	33,359,040株	2025年3月期	33,359,040株
2026年3月期1 Q	2,076,381株	2025年3月期	2,100,597株
2026年3月期1 Q	31,271,314株	2025年3月期1 Q	31,724,068株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に、景気は緩やかな回復基調を維持しましたが、一方、継続する物価上昇や米国の関税政策による影響の懸念などもあり、先行きは不透明な状況にあります。

このような経済環境の中、当社グループは、「きのこで健康を届けることを使命に市場と消費を拡大する」「利益の創出と企業の社会的責任を両立する」という経営ビジョンの下、健康食材である「きのこ」を事業の中心に据え、その研究開発、生産、販売を通してより多くの皆様へおいしさと健康をお届けできるよう事業活動を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高185億24百万円（前年同四半期比3.9%増）、営業利益1億76百万円（前年同四半期営業利益金額3百万円）、経常利益1億47百万円（同経常利益金額9億23百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億58百万円（同親会社株主に帰属する四半期純利益金額6億2百万円）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の生産量は、ブナピーを含めブナシメジ10,803 t（前年同四半期比1.4%減）、エリンギ4,118 t（同3.0%減）、マイタケ3,696 t（同1.1%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間の各セグメントの概況は次のとおりであります。

「国内きのこ事業」

生産部門におきましては、引き続きコスト削減に取り組むとともに、衛生管理をより徹底し、品質の向上と安定栽培に努め、安全・安心なきのこを生産してまいりました。

開発研究部門におきましては、商品品質の向上、付加価値の高い新商品や新品種の開発及びきのこの薬理効果や機能性の追求に取り組んでまいりました。

営業部門におきましては、きのこ需要を喚起すべく、健康・美容・スポーツを3本柱とした「きのこで菌活」を提唱し、鮮度に拘った営業活動を行ってまいりました。販売面では、昨年より続いた野菜高も徐々に落ち着き、野菜相場は大型野菜を中心に例年に比べ安値水準で推移しましたが、新中期経営計画に掲げた、新規開拓、棚の拡大、エリア戦略を推し進めたことにより、きのこの価格は比較的堅調な動きとなりました。

以上の結果、国内きのこ事業全体の売上高は117億90百万円（前年同四半期比4.6%増）、セグメント利益は4億56百万円（同146.1%増）となりました。

「海外きのこ事業」

米国の現地法人「HOKTO KINOKO COMPANY」におきましては、昨年10月に全ての顧客を対象に実施した値上げも浸透し、安定した受注状況が継続いたしました。また、新規顧客拡販の取り組みを強化し、着実に新規口座開設につなげて実績数字を伸ばした結果、売上高・営業利益は現地通貨ベースで共に計画を上回りました。

台湾の現地法人「台湾北斗生技股份有限公司」におきましては、猛暑により需要が減少したうえ、野菜価格全体の下落を受け、きのこの販売価格も大きく下落いたしました。そのような状況の中、特売などの需要喚起策にも取り組みましたが、売上高・営業利益は計画を下回る結果となりました。

マレーシアの現地法人「HOKTO MALAYSIA SDN. BHD.」におきましては、営業組織の改編に合わせて、単価を上げ利益創出を図る方針に転換し、販売促進方法の見直しも実施した結果、それらの影響による一時的な販売減と不要期が重なり、売上高・営業利益は共に計画を下回りました。

以上の結果、海外きのこ事業全体の売上高は18億22百万円（前年同四半期比4.7%減）、セグメント利益は2億31百万円（同14.7%減）となりました。

「加工品事業」

加工品事業におきましては、きのこ加工品（水煮・冷凍）の販売と調理加工品、業務用生鮮きのこの拡販、新商品の開発、市場開拓に取り組んでまいりました。外食部門とデリカ・中食向け商材・市販加工商品が好調だったほか、コンビニエンスストアにおいて定番メニュー商品の商材として採用に至り、販売量が順調に伸びました。通信販売では、健康食品とレトルト食品は苦戦しましたが、乾燥きのこの販売が好調に推移いたしました。また、子会社の株式会社アーデンにおきましては、5月までは得意先各社からの受注が大幅に減少し厳しい状況の中、6月は回復傾向にあったものの、結果として売上高・営業利益ともに計画を下回りました。

以上の結果、加工品事業の売上高16億74百万円（前年同四半期比3.4%減）、セグメント利益は16百万円（同26.1%増）となりました。

「化成品事業」

化成品事業におきましては、包装資材分野では、リサイクル製品・バイオマス製品などの環境包材や冷凍食品向け包材、食品ロス削減につながる機能性包材など、市場のニーズに合致した包装資材の提案営業に取り組みました。工業資材分野では、世界市場の動向が不透明感を増すなか、半導体や自動車部品などの輸出関連メーカー向けで販売が苦戦いたしました。

農業資材分野では、当四半期に見込んでいた大口案件の取り込みが翌四半期以降となったものの、きのこ栽培原料の販売は堅調に推移いたしました。また、自社製品の製造・販売は、前年度に引き続き堅調に推移しております。

以上の結果、化成品事業の売上高は32億37百万円（前年同四半期比11.4%増）、セグメント利益は1億7百万円（同68.1%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は407億19百万円となり、前連結会計年度末より20億97百万円増加いたしました。これは主に、流動資産のその他に含まれる火災保険金に係る未収入金18億96百万円の発生によるものであります。固定資産は687億72百万円となり、前連結会計年度末より2億26百万円減少いたしました。

この結果、総資産は1,094億91百万円となり、前連結会計年度末より18億70百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は261億43百万円となり、前連結会計年度末より13億19百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金30億2百万円の増加及び未払法人税等11億20百万円の減少によるものであります。固定負債は256億57百万円となり、前連結会計年度末より3億30百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は518億1百万円となり、前連結会計年度末より9億89百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は576億89百万円となり、前連結会計年度末より8億81百万円増加いたしました。

この結果、自己資本比率は52.7%（前連結会計年度末は52.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年5月14日付「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,323	18,042
受取手形及び売掛金	7,084	6,244
有価証券	6,989	5,990
商品及び製品	2,221	2,672
仕掛品	4,254	4,319
原材料及び貯蔵品	1,086	1,092
その他	668	2,361
貸倒引当金	△7	△4
流動資産合計	38,621	40,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	72,019	72,232
減価償却累計額	△39,164	△39,846
建物及び構築物(純額)	32,855	32,386
機械装置及び運搬具	70,088	70,706
減価償却累計額	△62,132	△63,361
機械装置及び運搬具(純額)	7,955	7,344
土地	14,581	14,563
その他	3,493	3,859
減価償却累計額	△2,089	△2,068
その他(純額)	1,404	1,790
有形固定資産合計	56,796	56,084
無形固定資産	136	125
投資その他の資産		
投資有価証券	8,374	8,865
退職給付に係る資産	1,773	1,790
その他	2,063	2,054
貸倒引当金	△146	△148
投資その他の資産合計	12,065	12,562
固定資産合計	68,998	68,772
資産合計	107,620	109,491

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,730	1,932
電子記録債務	4,087	3,829
短期借入金	7,097	10,100
未払法人税等	1,542	422
賞与引当金	1,288	789
火災損失引当金	147	7
その他	8,929	9,062
流動負債合計	24,823	26,143
固定負債		
新株予約権付社債	10,015	10,014
長期借入金	12,672	11,877
退職給付に係る負債	333	339
資産除去債務	1,035	1,063
その他	1,931	2,363
固定負債合計	25,988	25,657
負債合計	50,811	51,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	5,727	5,727
利益剰余金	47,044	47,130
自己株式	△3,851	△3,805
株主資本合計	54,420	54,552
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,768	3,095
為替換算調整勘定	△732	△306
退職給付に係る調整累計額	352	348
その他の包括利益累計額合計	2,387	3,137
純資産合計	56,808	57,689
負債純資産合計	107,620	109,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	17,825	18,524
売上原価	13,830	14,156
売上総利益	3,995	4,368
販売費及び一般管理費	3,991	4,191
営業利益	3	176
営業外収益		
受取配当金	107	146
受取地代家賃	39	38
為替差益	765	—
その他	46	41
営業外収益合計	959	226
営業外費用		
支払利息	29	31
為替差損	—	207
その他	10	16
営業外費用合計	39	255
経常利益	923	147
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	0	—
受取保険金	—	1,896
特別利益合計	1	1,898
特別損失		
固定資産除却損	0	0
火災損失	—	56
特別損失合計	0	56
税金等調整前四半期純利益	924	1,989
法人税、住民税及び事業税	98	306
法人税等調整額	223	324
法人税等合計	322	630
四半期純利益	602	1,358
親会社株主に帰属する四半期純利益	602	1,358

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	602	1,358
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△95	327
為替換算調整勘定	△104	426
退職給付に係る調整額	△0	△4
その他の包括利益合計	△200	750
四半期包括利益	402	2,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	402	2,108
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

(火災損失及び受取保険金について)

当第1四半期連結累計期間において、2024年10月29日に当社の上田第一きこのセンター（長野県上田市）にて発生した火災の復旧費用等56百万円を火災損失として特別損失に計上しております。また、同火災に係る確定保険金18億96百万円を受取保険金として特別利益に計上しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内きこの 事業	海外きこの 事業	加工品事業	化成品事業			
売上高							
(1) 外部顧客への売上 高	11,274	1,911	1,732	2,907	17,825	—	17,825
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	13	—	—	395	409	△409	—
計	11,287	1,911	1,732	3,302	18,234	△409	17,825
セグメント利益	185	271	13	64	534	△530	3

(注) 1. セグメント利益の調整額△530百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△526百万円およびセグメント間取引消去△3百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内きこの 事業	海外きこの 事業	加工品事業	化成品事業			
売上高							
(1) 外部顧客への売上 高	11,790	1,822	1,674	3,237	18,524	—	18,524
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	27	—	—	304	331	△331	—
計	11,818	1,822	1,674	3,542	18,856	△331	18,524
セグメント利益	456	231	16	107	812	△635	176

(注) 1. セグメント利益の調整額△635百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△640百万円およびセグメント間取引消去5百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	1,420百万円	1,341百万円